

災害看護支援ナース活動報告書

報告者: 新保 憲一
 所属施設: 新潟県立柿崎病院
 報告月日: 令和6年2月12日

活動日	令和6年2月8日(木)～2月11日(日)
活動場所	いしかわ総合スポーツセンター
活動内容	<p>2月8日 10:00金沢駅集合 10:30現地到着 全体オリエンテーション その後夜勤の為14:30より仮眠室で仮眠 16:30夜勤申し送り V/S測定、服薬確認 内服介助など 22:00消灯 夜間巡視23時 1時 3時 5時 7時 マニュアルの見直しなど</p> <p>2月9日 8:30申し送り 9:00送迎バスでホテルへ</p> <p>2月10日 8:10送迎バスで避難所へ 8:30申し送り V/S測定 転倒対応 有熱者の診察手続き 処方依頼 記録 ワークシート入力 16:30申し送り 17:00送迎バスでホテルへ</p> <p>2月11日 8:20送迎バスで避難所へ 8:30申し送り V/S測定 フットケア 記録 ワークシート入力 フットケア対象者ファイル作成 14:30申し送り 15:00送迎バスで金沢駅へ</p>
所感	<p>派遣される前の緊張と不安、数日間で入れ替わるスタッフ、ままならない引継ぎやオリエンテーション、到着その日に指示される夜勤勤務、利用者の中から見えてくる様々な問題利用者とかかわる中で感じる無力感など、いろいろと考えさせられ、たくさん経験を積ませてもらった。今までの災害派遣されたスタッフたちが築いたものはこの状況の中で大変な労力で作り上げられたものであったが、それでも現場はまだ混乱している状況であった。</p> <p>そういった中でも、集まったスタッフたちが自分の培ってきた看護の力を発揮し、熱意をもって利用者にかかわっていく姿に大いに刺激を受けた。利用者の為を一番に考え、自分たちに何ができるのかを考え、問題を見つけ、取り組んでいくことができた。自分が関わったフットケアで利用者に喜んでもらったことは、今回の災害派遣の意味を見出したように思う。</p> <p>他県の災害支援ナースと交流を深められたことも良い思い出となった。 今後も派遣要請が来た時には、今回の経験を踏まえ前向きに検討したいと思う。</p>